

地元食材直売所が人気

生産者が新鮮な食材を販売する直売所が、福山市内で人気を呼んでいる。市農政課が2月末時点で把握しているだけでも、年間の大半の期間にわたって開設され、市内産の食材を扱っている直売所は約20か所、季節限定なども含めると約40か所に上るといふ。一方、スーパーも、地元の農家が野菜などを販売するスペースを設ける動きを見せており、消費者が地元産の食材を手軽に入手出来る機会は増えているようだ。

(河部啓介)

Bingo 現場から

福山市山野町の「キラリ

やまの」は2006年8月、撤退したスーパーの店舗を利用して開設され、住民30人が4人ずつ交代で店番をしている。地元産の大根やシイタケなど新鮮な野菜を中心に、12人のボランティアが作った煮物などの総菜も並び、地元住民の貴重な買い物場となっている。

代表の門田美枝子さん

(63)は、「最近では遠くから『あの味が忘れられない』と繰り返し訪れる人も多い」と、地域の外のファンも増えていることを実感し

福山市内に20か所

ているという。

同市沼隈町の『道の駅』アリストぬまくま 自由市場』は、加工品販売にも力を入れ始めている。市内の食品関連業者や農家などで



新鮮な野菜が並ぶ「キラリやまの」(福山市山野町)

つくる「備後特産品研究会」と連携し、同会が開発した地元産のじゃこを使った「じゃこ飯の素」を1月から販売している。寺岡正志支配人は「直売所間の競争は激しくなっていく。ここでしか売っていないものを独自に開発することが必

安全への関心追い風

要」と強調する。

一方、スーパー「ニチエー」(福山市松永町)は、市内4店舗に、農家が野菜を置いて売る「ごめん市」を設置。同社の担当者は「『生産者の顔が見える』と人気は高い」と話して

◆主な直売所

- ① 山野峡グリーンいちば (山野町田原)
- ② キラリやまの (山野町山野)
- ③ 広瀬高原野菜市場 (加茂町北山)
- ④ 加茂夕ぐれ市 (加茂町芦原)
- ⑤ さるかに共和国とれとれ市 (新市町金丸)
- ⑥ 服部ふれあい朝市 (服部町服部)
- ⑦ 新市水曜日 (新市町戸手)
- ⑧ 有地直売場 (芦田町上有地)
- ⑨ 徳田ハートピア市 (神辺町新徳田)
- ⑩ J A福山市かんべアグリセンターふれあい市 (神辺町川北)
- ⑪ J A福山市竹尋支店前産直市 火曜朝市 (神辺町下竹田)
- ⑫ 坪生夕ぐれ市 (坪生町)
- ⑬ J A福山市大津野支店ふれあい朝市 (大門町)
- ⑭ 大黒農家の八百屋 (大黒町)
- ⑮ J A福山市川口ふれあい市 (川口町)
- ⑯ 山郷土曜朝市会 (山手町)
- ⑰ J A福山市瀬戸ふれあい市 (瀬戸町地頭分)
- ⑱ J A福山市松永ふれあい市 (松永町)
- ⑲ 「道の駅」アリストぬまくま 自由市場 (沼隈町常石)
- ⑳ くろうかい (内海町)

いる。

福山市農政課は「食の安全への関心の高まりなどが追い風となって、直売所は年々増加している。地産地消は市の目標でもあり、こうした動きは歓迎」としている。



- ① 山野峡グリーンいちば (山野町田原)
- ② キラリやまの (山野町山野)
- ③ 広瀬高原野菜市場 (加茂町北山)
- ④ 加茂夕ぐれ市 (加茂町芦原)
- ⑤ さるかに共和国とれとれ市 (新市町金丸)
- ⑥ 服部ふれあい朝市 (服部町服部)
- ⑦ 新市水曜日 (新市町戸手)
- ⑧ 有地直売場 (芦田町上有地)
- ⑨ 徳田ハートピア市 (神辺町新徳田)
- ⑩ J A福山市かんべアグリセンターふれあい市 (神辺町川北)
- ⑪ J A福山市竹尋支店前産直市 火曜朝市 (神辺町下竹田)
- ⑫ 坪生夕ぐれ市 (坪生町)
- ⑬ J A福山市大津野支店ふれあい朝市 (大門町)
- ⑭ 大黒農家の八百屋 (大黒町)
- ⑮ J A福山市川口ふれあい市 (川口町)
- ⑯ 山郷土曜朝市会 (山手町)
- ⑰ J A福山市瀬戸ふれあい市 (瀬戸町地頭分)
- ⑱ J A福山市松永ふれあい市 (松永町)
- ⑲ 「道の駅」アリストぬまくま 自由市場 (沼隈町常石)
- ⑳ くろうかい (内海町)

(福山市農政課調べ)